

意識下の歩み

己を見失うことを望み
己を見失えば、君は...
はからずも、足元は危うげに

流れるものを追えば
折れるべき交差点を素通りし

浮遊^{うち}の中にさ迷う

杖突き歩く者に段差は多く
素通りする想いととも

抱き寄せるべきは静寂の沈む湖^{うみ}

流れるもの
ひと、かぜ
そして、今日

奏^{うた}でべきは
未来へ向けた苦しげな喘ぎではなく

いま^{いま}を呼吸する、この時間^{とき}

車窓を流れゆく数々の存在は
在ることを意識せず
流れることを願うらしく見える

(2000.7.15)